

丹波山村無形民俗文化財

お松引き

例年のおおまかな流れ

(朝～各地区でも小規模なお松引きがあります。)

- 13:00頃を目途にスタート (毎回13:30スタート)
 - かどや旅館前 → 守岡栄喜様宅前 (ミカンを撒く)
 - 守屋孝芳様宅前 (商工会で飲食【甘酒・けんちん汁・焼き鳥・ぜんざい・鹿肉】)
 - 守屋孝芳様宅横 (奥多摩町おはやし)
 - 守屋武彦様宅前 (ミカンを撒く)
 - 守岡京子様宅前
 - 駐在所又は丹波バス停 (太鼓披露)→ 嶋崎義人様宅前 (ミカンを撒く)
 - 道祖神 (サミットのじゃがいもを配布)
- 16:00頃を目途に終了



お松引き

伝統の奇祭

正月七日に催される `お松引き、は、門松をはらう松送りの祭事です。まず七草粥をお松様にお供えし一家で七草粥を食べてから、熊野神社前の集積場まで松や正月飾りを運び、修羅と呼ばれるY字形の大木の木ヅリの上に積み上げ、正面にはその年の干支を飾ります。こうして午前中をかけて山車が出来上がると午後からは修羅に付けられた2本の綱をハッピー姿の村人たちが「ヨーイ・ヨーイ」と威勢よく木遣りの音頭でかけ声を合わせながら道祖神まで引いてゆきます。街道やお松様からはみかんが威勢よく観客に投げられ、それを食べると1年間病気をしないとされています。十四日、道祖神に積まれたお松様は一年の無病息災を祈って焼かれ丹波のお正月は終わります。

修羅 (しゅら)

「修羅」は古墳時代から使われてきた運搬具の一種で、二またの大木で作ったY字形の木ヅリです。それがまだ生きた道具として使われているのは日本中でここ丹波山村だけというのも興味深い事です。

門ん道神 (かどんどうしん)

1月15日の小正月には家の入口左右に男女一対の「門ん道神」を魔除けのためにたてるのがならわしとなっています。

松引き木遣歌 (きやりうた)

(帯比寿)

やるわいな
やるわいな
目出度いことにて 申すなら
帯比寿様といふ人は
一に候を踏んまいて
二ににっこり 笑つて
三に茶 手に受けて
四に世の中 良いまつに
五で泉の湧くまつに
六で無病息災に
七で何事ないまつに
八で屋敷を買い広げ
九ツ小倉を打ち建てて
十でどっくら納まつたぞえ

(蓋)

ツバクロが ツバクロが
常盤の国からはれに來て
お家の軒へと巢をかけて
十二の卯を 産み揃え
二十日余日を 曝めて
最早や 卯も雞となり
雄鳥が餌バニに行くときほ
雌鳥は単にて 子を愛し
雌鳥は餌バニに行くときほ
雄鳥が単にて子を愛し
蝶々花よと 守り育て
常盤の国へと立つときほ
お家お島で
鳴き立つぞえ

エンヤラヤーア

(略)

エンヤラヤーア

丹波山村

丹波山村温泉観光課／丹波山村観光協会

0428-88-0411 山梨県北都留郡丹波山村890